平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：資源循環推進課
担当名：資源循環工場担当
内線：3103

（単位：千円）

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B32	資源リサイクル拠点環境調査研究事業費	一般会計	総務費	環境費	廃棄物対策費	公共関与による資源循環モデル事業費

事業期間	平成17年度～平成41年度	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	戦略項目	
				分野施策	040302　資源の有効利用と廃棄物の適正処理の推進

1　事業概要

リサイクル施設と県営最終処分場が集積する彩の国資源循環工場において、県の研究機関と連携し、総合的、継続的な環境調査を実施し、安全で安心な廃棄物処理の徹底を図る。

（1）埋立処分に係る環境調査費
　経費節減　△447千円
（2）資源循環工場に係る環境調査費
　委託に係る契約差金及び経費節減　△447千円
（3）環境調査評価委員会運営費
　経費節減　△162千円

2　事業主体及び負担区分

県

3　地方財政措置の状況

普通交付税（単位費用）
（区分）衛生費　（細目）生活衛生指導費
（細節）廃棄物処理対策費
（積算内容）廃棄物処理対策に関する事務

4　事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×2.7人＝25,650千円

5　事業説明

（1）事業内容

ア　埋立処分に係る環境調査費　20,717千円 → 20,270千円
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」や「埼玉県環境整備センター公害防止協定書に基づき、水質検査、ダイオキシン類検査、発生ガス検査、土壌検査等を実施することにより地域住民の安心・安全を確保する。

イ　資源循環工場操業に係る環境調査費　26,360千円 → 25,913千円
寄居町及び地元地区協議会との間で締結した「彩の国資源循環工場運営協定書」に基づき、大気、騒音、振動、悪臭、水質について検査等を実施することにより公害を防止し、地域住民の安心・安全を確保する。
また、埋立地からの発生ガス測定に係る機器を更新し、環境測定の継続と精度の維持を図る。

ウ　環境調査評価委員会運営費　1,857千円 → 1,695千円
彩の国資源循環工場に関する環境調査で基準超過した際に、追跡調査を行うとともに、環境問題を専門とする外部委員等により構成される評価委員会を開催し、基準超過の原因究明や対策を行い、安心・安全な運営を確保する。

（2）事業計画

環境整備センター及び資源循環工場の事業終了まで測定を継続する。

（3）事業効果

検査数値の異常　なし（H27.10時点）
本年度は現在のところ異常は観測されていない。

（4）補正予算の概要

ア　経費節減　△956千円
イ　業務委託料の契約差金による減　△100千円

予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額
		財産収入	諸収入						
決定額	△1,056		△1,056					0	47,878
現計額	48,934	28,185	19,995					754	